



2019.6 No.194
2019.JUNE

Main Reports

- 会長就任挨拶 会長 吉村 隆
- 一般社団法人日本映像ソフト協会 役員名簿
- 映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査2018①
～映像ソフト市場規模は5,628億円、前年比108.0%～
- 2019年度事業計画

2019年3月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	3 月 実 績 (金額単位:百万円 数量単位:千本・千枚)								1 月 ~ 3 月 の 累 計									
	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同月比	新作数	前年 同月比	売上金額の 増減社数	金 額	構成比	前年 同期比	数 量	構成比	前年 同期比	新作数	前年 同期比	
販売用(個人向)	4,265	61.3%	61.6%	1,158	38.6%	68.0%	415	97.6%	増 減 9社 18社 2社	12,548	61.3%	78.9%	3,441	40.8%	86.5%	992	88.8%	
特殊ルート	26	0.4%	76.5%	72	2.4%	84.9%	0	0.0%		103	0.5%	98.1%	341	4.0%	146.4%	14	155.6%	
レンタル店用	2,599	37.3%	83.1%	1,744	58.1%	98.8%	361	84.7%		7,646	37.4%	86.9%	4,610	54.7%	88.7%	1,105	89.7%	
業務用	71	1.0%	114.5%	25	0.8%	67.6%	6	28.6%		162	0.8%	103.2%	37	0.4%	32.1%	50	50.5%	
DVDビデオ	6,961	47.8%	68.6%	2,999	70.9%	83.5%	782	89.3%		20,459	50.3%	82.0%	8,430	70.9%	88.5%	2,161	88.0%	
販売用(個人向)	7,278	95.7%	78.4%	1,077	87.6%	79.2%	331	114.5%		増 減 12社 14社 3社	19,183	95.0%	96.7%	3,011	87.0%	92.2%	773	110.3%
特殊ルート	26	0.3%	236.4%	6	0.5%	92.9%	1	100.0%			101	0.5%	206.1%	20	0.6%	154.6%	8	800.0%
レンタル店用	247	3.2%	68.6%	135	11.0%	69.1%	17	70.8%			841	4.2%	91.8%	417	12.1%	83.7%	54	98.2%
業務用	56	0.7%	560.0%	12	1.0%	250.3%	0	-			67	0.3%	268.0%	13	0.4%	224.1%	0	0.0%
ブルーレイ (ULTRA HD Blu-rayを含む)	7,607	52.2%	78.7%	1,230	29.1%	78.5%	349	111.1%			20,197	49.7%	97.0%	3,462	29.1%	91.5%	835	110.2%
合 計	14,568	100.0%	73.5%	4,229	100.0%	82.0%	1,131	95.0%	40,651		100.0%	88.8%	11,891	100.0%	89.4%	2,996	93.2%	

◎今月の売上報告社数……29社(*前年同月の報告社数:30社) ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、又は前年同月の報告がない場合
◎「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。ただし、「レベニューシェアリングのみ」でリリースされる作品数は合計値に加算されている。
◎雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるビデオソフトの出荷について「特殊ルート」として本統計調査に加えている。

2019年4月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	4 月 実 績 (金額単位:百万円 数量単位:千本・千枚)								1 月 ~ 4 月 の 累 計									
	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同月比	新作数	前年 同月比	売上金額の 増減社数	金 額	構成比	前年 同期比	数 量	構成比	前年 同期比	新作数	前年 同期比	
販売用(個人向)	4,621	65.8%	121.6%	1,310	45.1%	110.0%	358	126.5%	増 減 11社 16社 2社	17,169	62.5%	87.1%	4,751	41.9%	91.9%	1,350	96.4%	
特殊ルート	15	0.2%	65.2%	20	0.7%	27.0%	2	66.7%		118	0.4%	92.2%	361	3.2%	117.5%	16	133.3%	
レンタル店用	2,361	33.6%	85.7%	1,556	53.6%	90.3%	425	103.4%		10,007	36.4%	86.6%	6,167	54.4%	89.1%	1,530	93.1%	
業務用	30	0.4%	111.1%	17	0.6%	387.6%	4	33.3%		192	0.7%	104.3%	55	0.5%	45.1%	54	48.6%	
DVDビデオ	7,027	42.7%	106.4%	2,903	56.4%	97.0%	789	111.3%		27,486	48.1%	87.1%	11,333	66.5%	90.6%	2,950	93.2%	
販売用(個人向)	9,071	96.2%	113.2%	2,020	89.9%	139.1%	319	146.3%		増 減 16社 10社 3社	28,254	95.4%	101.5%	5,031	88.1%	106.6%	1,092	118.8%
特殊ルート	22	0.2%	172.6%	13	0.6%	332.0%	2	200.0%			123	0.4%	199.2%	33	0.6%	195.5%	10	500.0%
レンタル店用	331	3.5%	110.0%	214	9.5%	134.2%	27	168.8%			1,172	4.0%	96.3%	631	11.1%	95.9%	81	114.1%
業務用	4	0.0%	50.0%	0	0.0%	39.4%	0	-			71	0.2%	215.2%	14	0.2%	193.3%	0	0.0%
ブルーレイ (ULTRA HD Blu-rayを含む)	9,428	57.3%	113.1%	2,247	43.6%	139.0%	348	148.1%			29,625	51.9%	101.6%	5,709	33.5%	105.7%	1,183	119.1%
合 計	16,455	100.0%	110.1%	5,150	100.0%	111.8%	1,137	120.4%	57,106		100.0%	94.0%	17,041	100.0%	95.1%	4,133	99.4%	

◎今月の売上報告社数……29社(*前年同月の報告社数:30社) ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、又は前年同月の報告がない場合
◎「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。ただし、「レベニューシェアリングのみ」でリリースされる作品数は合計値に加算されている。
◎雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるビデオソフトの出荷について「特殊ルート」として本統計調査に加えている。

Index

会長就任挨拶 会長 吉村 隆	2
一般社団法人日本映像ソフト協会 役員名簿	2
2019年度通常総会及び第388回定例理事会開催報告	3
第386回、第387回定例理事会開催報告	3
2019年度新入社員合同研修会開催報告	4
映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査2018①	5
2019年度事業計画書	7
eメディア部会定例セミナー開催報告	9
第43回JVA懇親ゴルフ会開催報告	9
一般社団法人日本映像ソフト協会 組織図	10
主な会議、委員会の紹介	10
JVAバリアフリー対応に感謝状	12
不正商品対策協議会	13
コンテンツ海外流通促進機構	13
リレーエッセイ vol.137	14
日誌に見る協会の動き	14

会長就任挨拶

一般社団法人 日本映像ソフト協会 会長 吉村 隆

(株)ポニーキャニオン 代表取締役社長



この度、島谷会長のご退任を受け、一般社団法人日本映像ソフト協会会長の重責を担うこととなりました。

前任の島谷会長おかれましては二期にわたり会長を務められ、この業界の牽引役として力強くリーダーシップを発揮していただきました。この度、私にバトンが渡り大変身の引き締まる思いですが、業界発展のため精進し邁進して参ります。

ご存知のとおり、パッケージ市場はここ数年、厳しい状況にあります。しかし昨年は、100万枚を超えるセールスを記録した安室奈美恵さんの作品をはじめとした邦楽の好調により、セル市場において5年ぶりに昨年対比で上回り(100.3%)ました。この明るい兆しは、魅力的な人材、魅力的な作品は、まだまだお客様を惹きつけ、パッケージの大ヒットタイトルとなり得ることを証明してくれました。

私は、モノづくりにはそれに携わる者の情熱が何より大切だと考えています。JVA会長として、作品に関わる全ての人たちが情熱を持って良い作品を作り、お客様に届けられる環境を、会員社の皆様と共に作っていきたくと思っています。

3年前、島谷会長就任と同時にこのパッケージ市場活性化の施策として「11月3日はビデオの日～おうちでエンタメ！」キャンペーンが始動しました。今年も引続き業界一丸となって取り組んでいます。私も今回JVA会長就任と同時に、「ビデオの日」実行委員会座長となったわけですが、実行委員会の方々と共に連携を取りながら、何よりパッケージソフトを手にするお客様に喜んでもらえる施策、そして市場全体が盛り上がるような施策を推進してまいりたいと考えています。

一方で、映像配信市場は大きく伸長を続けており、パッケージと映像配信を併せた映像ソフト市場は新たなステージに突入したと言えます。

昨年は、4K/8Kの本放送も始まりました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催のタイミングも相まって、今後、

高画質へのニーズは益々高まっていくのではないのでしょうか。そして、今年の後半には、5Gのプレサービスが始まります。高速大容量な通信環境となり、映像コンテンツを含む多くの情報に、より容易にアクセスできる時代になります。また、メジャースタジオが配信サービスを開始するなど、映像ソフト市場を取り巻く環境は日々急速に変化しています。その環境の変化や消費者の動向を的確に捉え、且つ迅速に対応できるよう調査・研究に努め、会員社間での情報共有を密に図りたいと考えています。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催により、日本が世界から注目される中で、日本の映像コンテンツが世界の人々の目に触れる機会も増えて、ビジネスチャンスの好機も増えることでしょう。その半面で、インターネット上での権利侵害が大きな問題となっております。健全な市場を守るための、著作権をはじめとした法整備といったルール作りや、コンテンツの正規利用の促進等の課題に取り組む所存です。このパライシー対策においては、従前どおり、知的財産推進本部、警察庁、文部科学省、文化庁、経済産業省等の関係官庁への働きかけ、および関係諸団体との連携など、これまで同様に協会として果たすべき役割を務めます。また、当協会事務局と事務局の場所を一つにして業務に当たっている不正商品対策協議会や一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)とも、今後も協力関係を継続し、日本コンテンツの権利保護と発展に寄与してまいります。

業界として取り組むべき課題ひとつひとつに真摯に向き合い、井上副会長、そして事務局と連携を密にし、取り組んでまいり所存です。理事・監事の皆さまをはじめ会員社の方々、関係官庁、関係団体、流通事業者、報道関係の方々など、関係各位の皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本映像ソフト協会 役員名簿						(2019.6.7現在・五十音順)
会 長	吉村 隆	新任	(株)ポニーキャニオン 代表取締役社長	理 事	寺島 ヨシキ	エイバックス・ピクチャーズ(株) 代表取締役会長
副 会 長	井上 伸一郎		(株)KADOKAWA 代表取締役副社長執行役員	理 事	堂山 昌司	NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同) 最高経営責任者兼社長
専務理事	後藤 健郎		(一社)日本映像ソフト協会 専務理事	理 事	トニー・エリソン	ウォルト・ディズニージャパン(株) メディアバイスプレジデント&ゼネラルマネージャー
理 事	安齋 尚志	新任	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長	理 事	間宮 登良松	東映ビデオ(株) 代表取締役社長
理 事	岩上 敦宏		(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント執行役員 ビジュアル&キャラクタービジネスグループ担当	理 事	村上 潔	キングレコード(株) 代表取締役専務
理 事	大谷 信義		松竹(株) 取締役会長	理 事	安岡 喜郎	(株)パップ 代表取締役社長執行役員
理 事	川合 史郎		20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパン(株) 代表取締役社長	理 事	山崎 敏	新任 東宝東和(株) 代表取締役社長
理 事	川城 和実		(株)バンダイナムコアーツ 代表取締役社長	理 事	依田 巽	ギャガ(株) 代表取締役会長 CEO
理 事	佐藤 直樹		日活(株) 代表取締役 執行役員社長	監 事	保志 忠郊	(株)第一興商 代表取締役社長
理 事	島谷 能成		東宝(株) 代表取締役社長	監 事	前田 哲男	染井・前田・中川法律事務所 弁護士

2019年通常総会および第388回定例理事会開催報告

去る6月7日(金)午後2時より、当協会会議室において2019年度通常総会が開催された。正会員社28社のうち出席者26社(委任状出席1社、議決権行使書提出10社を含む)だった。以下のとおり報告事項1件が報告され、決議事項3件が承認された。

●報告事項 1. 2018年度事業報告の件

●決議事項

- 第1号議案 2018年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書(案)承認の件
- 第2号議案 2019年度事業計画書及び2019年度収支予算書(案)承認の件
- 第3号議案 役員20名(理事18名・監事2名)選任の件

総会に引き続き、第388回定例理事会が開催され、会長、副会長の選定を含む以下の議案が承認された。

●決議事項

- 第1号議案 代表理事選定の件・・・承認
- 第2号議案 業務執行理事選定の件・・・承認
- 第3号議案 部会長選任の件・・・承認
- 第4号議案 臨時総会開催の件・・・承認
- 第5号議案 「映画感想文コンクール2019」に対する後援名義使用承認の件・・・承認
- 第6号議案 「MaMA2019」に対する後援名義使用承認の件・・・承認

●報告事項

1. 各部会報告について
2. 市場活性化キャンペーンについて
3. 知財関係報告(2019/5)
4. 2019年4月度ビデオソフト売上速報について
5. 2019年4月度映像配信統計報告について
6. その他

理事会

第386回、第387回定例理事会開催報告

4月2日(火)午後2時より当協会会議室において第386回定例理事会を開催した。議事の要旨は次のとおり。

●決議事項

- 第1号議案 2019年度収支予算(案)承認の件・・・承認
- 第2号議案 事務局組織変更承認の件・・・承認
- 第3号議案 平成31年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」協賛依頼承認の件・・・承認

●報告事項

1. 各部会報告について
2. 市場活性化WG経過報告について
3. 知財関係報告(2019/3)
4. 2019年度 新入社員合同研修会のお知らせ
5. 2019年2月度ビデオソフト売上速報について
6. 2019年2月度映像配信統計報告について
7. 2019年工業統計調査の実施における広報依頼について

5月7日(火)午後2時より当協会会議室において第387回定例理事会を開催した。議事の要旨は次のとおり。

●決議事項

- 第1号議案 2018年度事業報告書(案)承認の件・・・承認
- 第2号議案 2018年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書(案)承認の件・・・承認

- 第3号議案 2019年度通常総会開催の件・・・承認
- 第4号議案 役員候補者(案)承認の件・・・承認
- 第5号議案 2019年度昇給(案)承認の件・・・承認
- 第6号議案 2019年度上期賞与支給(案)承認の件・・・承認
- 第7号議案 「MPTE AWARDS 2019 第72回表彰式」に対する後援名義使用承認の件・・・承認
- 第8号議案 MPO法人JAVCOM No.155特別セミナーに対する後援名義使用承認の件・・・承認
- 第9号議案 「Connected Media Tokyo 2019」に対する後援名義使用承認の件・・・承認

●報告事項

1. 各部会報告について
2. 知財関係報告(2019/4)
3. 2019年度 社員合同研修会開催のご案内
4. 2019年3月度ビデオソフト売上速報について
5. 2019年3月度映像配信統計報告について
6. 映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査2018について
7. 経済センサス基礎調査の実施について(総務省統計局)
8. JVA「バリアフリー」の取組みについての感謝状

2019年度新入社員合同研修会開催報告

総務人事委員会（枇榔浩史委員長 東宝(株)）は4月11日（木）・19日（金）に正会員社の新入社員を対象とした合同研修会を開催し、13社130名が参加した。

研修会では、「調査データから見る映像ソフト市場の動向について」（講師：四方田浩一氏 映像メディア総合研究所代表）、「米国におけるホームエンターテインメント及びデジタル配信の状況」（講師：岩崎明彦氏 ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)メディア ビジネスデベロップメント エグゼクティブディレクター）、「コンテンツ産業と著作権」（講師：小林靖子JVA業務部法務課兼著作権担当主事）の講義が行われた。著作権の講義では、権利者団体対応委員会の上埜芳被委員長（(株)バンダイナムコアーツ）にも登壇いただき、参加者からの質問にお答えいただいた。講義後は、グループワークを行った。講義内容を振り返りそれぞれの考えや疑問について意見交換を行い、最後に代表者による発表が行われた。

研修会後の懇親会では、島谷会長(4/19)、井上副会長(4/11)

より乾杯の挨拶がなされた。参加者は積極的に声を掛け合い会場が大いに盛り上がるなか終了の時間となった。

参加者の皆様からのアンケートから、結果を抜粋すると、講義に関しては、「今後自分がこの業界で働くうえで、何に着目し意識すべきか、どう考えていくべきかの指標をいただいた。」「米国の傾向を知ることが日本に直接反映できる対策ではないが、この比較の視点が問題解決のヒントになると感じた。」「著作権使用料について、配給会社側とJASRAC側での視点の違いで協議がなされているという話が興味深かった。」「読み書きのおぼつかない子供たちさえスマホを触る時代、小中学生に向けてなぜ著作権が必要なのか分かってもらうのが重要。」などがあった。また、グループワークについては「多様な視点から意見を発してくれていて、自分が着目しきれない部分に注目するきっかけになった。」「それぞれの立場から意見が出て興味深い議論が出来た。」「エンタメ業界を一緒に盛り上げいくうえで貴重な経験となった。」などの感想があった。

▼新入社員の皆さんが一同に会した



▼代表者による会社紹介



▲グループワークでは代表者による発表が行われた



映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査 2018①

～映像ソフト市場規模は5,628億円、前年比は108.0%～

マーケット調査委員会(森口和則委員長 松竹(株))は、デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン(DEGジャパン)と共同で『映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査2018』をまとめた。本調査結果について、マーケット調査委員会の森口和則委員長(松竹(株))とDEG統計調査委員会の井上倫明委員長(20世紀フォックスホームエンターテインメントジャパン(株))が出席し、5月9日(木)14時00分よりJVAとDEGの会員社を対象とした説明会を開催した。詳細は、本調査の実施・分析を担当した(株)文化科学研究所の山名尚志氏が説明をした。また、5月16日(木)には、JVA会議室において記者発表会を開催した。

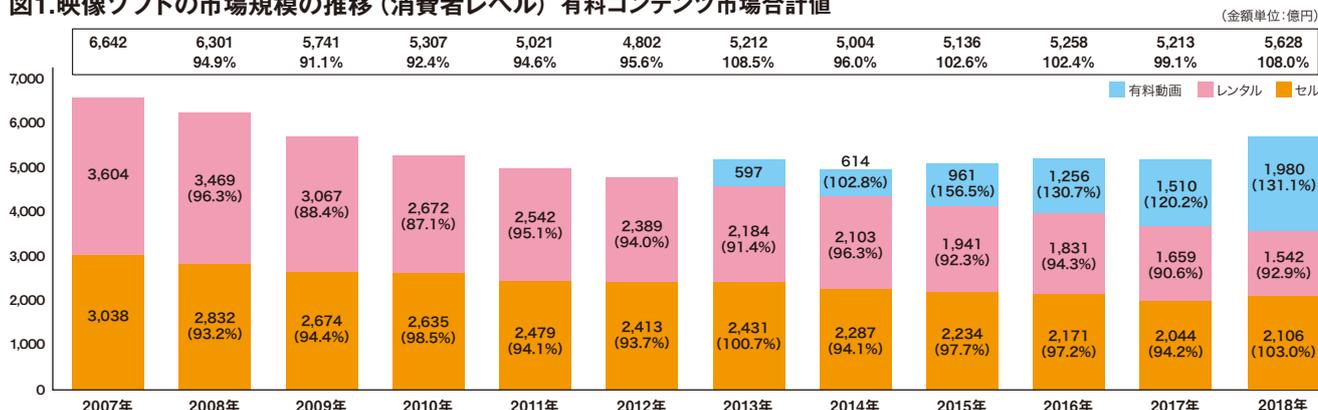
本調査は、「ビデオソフト市場(DVDとブルーレイのセル及びレンタル)」と、「ユーザーがコンテンツに対価を払って視聴する「有料動画配信市場」をあわせて「映像ソフト市場」と定義した上で、その市場規模とユーザーの利用動向を、ユーザーに対するアンケートを基に調査したものである。なお、有料動画配信市場の市場推計については、対価を支払っていることを認識して利用しているアクティブユーザーによる支払額の総額を市場規模としている。

本調査の広報資料から、本号と次号の2回に分けて結果を報告する。

1.映像ソフト市場規模

映像ソフト市場(セル市場+レンタル市場+有料動画配信市場)の総計は5,628億円と推計、前年比108.0%と2年ぶりに前年を上回った。セル市場は2,106億円(前年比103.0%)、レンタル市場は1,542億円(同92.9%)、有料動画配信市場の推計値は1,980億円(同131.1%)とし、有料動画配信市場がレンタル市場を上回った。(図1)

図1.映像ソフトの市場規模の推移(消費者レベル) 有料コンテンツ市場合計値



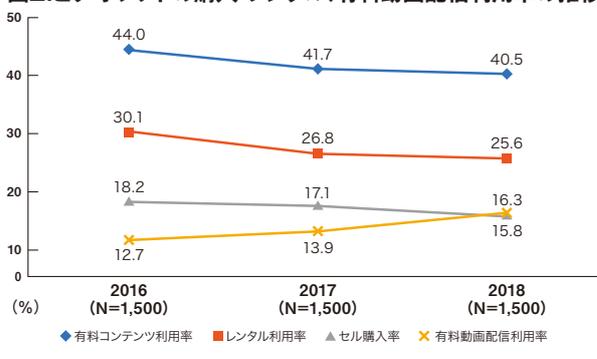
※2013年から有料動画配信サービスの市場推計値を算出。これまでのビデオソフトの市場規模の推移に追記した。
 ※上記有料動画配信サービスには、有料放送局(WOWOWやスカパー!)会員やCATV契約者が追加契約無しでみられる見放題のVODや、ポータルサイトの有料付随サービスとしての見放題のVOD、あるサービスの有料会員になることの見放題サービスとしての見放題VODの視聴を含む。
 ※なお、市場規模算出に当たっては、購入、レンタル、有料動画配信を利用したと回答した人のそれぞれのサービスの利用料金を基に推計している。

調査概要

調査概要

- 調査対象 全国に居住する満16歳～69歳の男女で、インターネット利用者。(性年代別・都道府県別構成比を住民基本台帳に基づいて割り付けたインターネット利用者を対象に調査を実施し、その回収標本に対する補正をACR/Ex調査結果(株)ビデオリサーチ)を用いて実施した)
- 調査実施 2019年1月
- 調査対象期間 2018年1月～12月
- 調査方法 インターネットによる調査
- 回収サンプル構成
 - 一般調査:1,500サンプル
 - 有料動画配信調査:300サンプル
- 調査機関
企画分析:(株)文化科学研究所/調査実施:(株)ビデオリサーチ
- 有料動画配信サービスについて
2015年から、有料動画配信サービスには、有料放送局(WOWOWやスカパー!)会員やCATV契約者が追加契約なしでみられる見放題のVOD(ビデオ・オンデマンド・サービス)や、ポータルサイトの有料付随サービスとしての見放題VOD、特定サービスの有料会員になることによる付随サービスとしての見放題VODの視聴を含む。
- 集計データの補正
本調査は16歳～69歳のインターネット利用者を対象として実施したため、同世代の一般個人におけるデータとして推計するために、補正データとして、「ACR/Ex調査」を用いる。「ACR/Ex調査」の対象者全体が一般の市場全体を代表しているとみなして、性年齢別にウェイト値を求め、データの補正を行った。

図2.ビデオソフトの購入・レンタル、有料動画配信利用率の推移



2. ビデオソフトの購入とレンタル、有料動画配信の利用比較

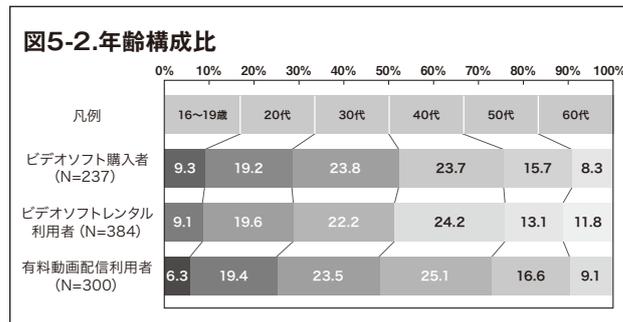
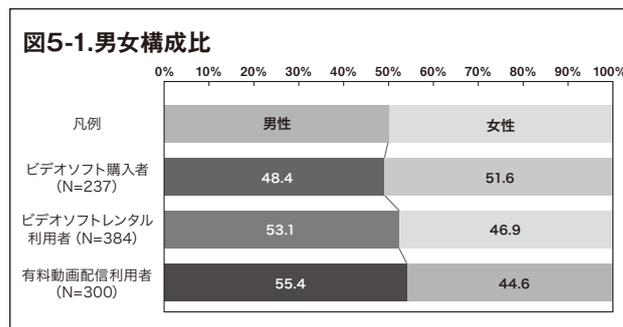
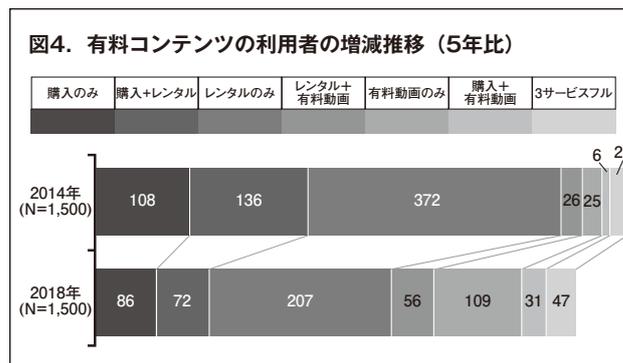
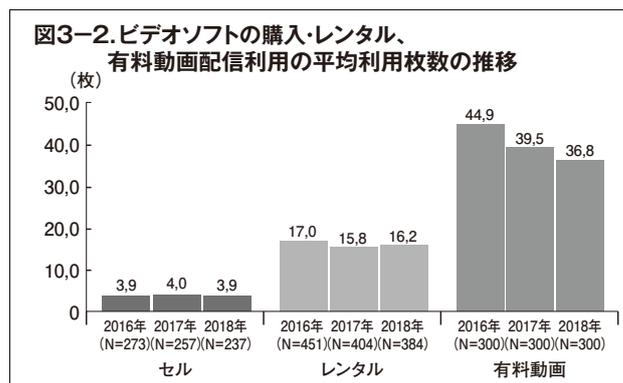
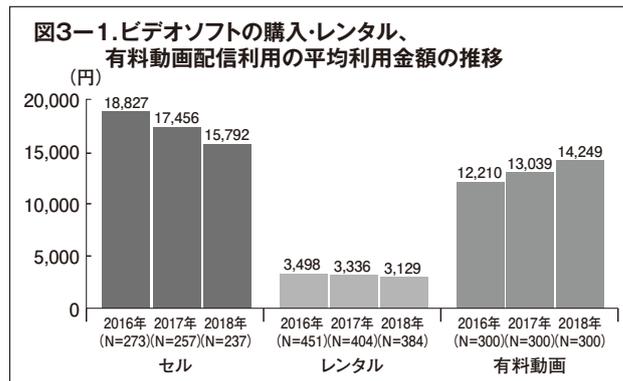
2018年1月～12月の1年間にビデオソフトを購入した人の率は2017年0.8ポイント微減し15.8%となり、有料動画配信を利用した人の率は2017年の13.9%から1.9ポイント増えて16.3%と伸長して、セルの利用率を上回った。レンタルビデオを借りた人の率は2016年の30.1%から25.6%と4.5ポイント減となり、低落傾向が続いている。総合すると、2018年の1年間に購入、レンタル利用および有料動画配信サービスのいずれかを利用した「有料コンテンツ利用者」は40.5%となり、2017年の41.7%から1.2ポイントの減少となった。(図2)

ビデオソフトの年間平均購入枚数は3.9枚で2017年の4.0枚から微減、一方、平均購入金額は15,792円(2017年は17,456円)と減少した。細かい傾向を見ると、ブルーレイはその年のヒット作品、ジャンルにより平均購入金額と単価が上下しているが、DVDにおいては平均購入金額と単価ともに減少傾向である。一方、レンタルの年間平均利用枚数は16.2枚で2017年の15.8枚より微増している。ただし、平均利用金額は3,129円で、2017年の3,336円となり少しずつ減少を続けている。有料動画配信については、年間利用金額が14,249円となり、2017年の13,309円から大きく増加した。この背景には、複数のプラットフォームを利用するユーザーが増えていることなどがある。一方の平均利用枚数(視聴タイトル数)は2017年の39.5から36.8となり2014年から減少が続いているが、ユーザーの広がりによるライトユーザーの増加の現れと考えられる。(図3-1、図3-2)

3. 有料コンテンツ利用者の状況

有料コンテンツ利用者は、過去5年間で、87.4%と減少傾向にある。ただし、サービスごとには大きな消長があり、ビデオソフトのみの利用者は軒並み減少している一方で、有料動画のみと有料動画とビデオソフトを併用している利用者は大幅に増加している。一番増加したのは「購入+有料動画」の利用者で5年間に5倍の伸びを示した。逆に最も減っているのは、「購入+レンタル」の利用者で5年間に約半数と大幅に減っている。(図4)

男女別構成比をみると、ビデオソフト購入者の女性比率が51.6%(昨年49.7%)上がり過半を占めた。年齢構成比では昨年と比べて、ビデオソフト購入者、ビデオレンタルは中高年層の構成比が概ね高くなっている一方、有料動画配信利用者は10～20代の構成比が伸びている。(図5-1、5-2)



2019年度事業計画書(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

平成最後となる今年において、早々に話題となったのが、NetflixのMPAAへの加盟である。劇場を主体に映画ビジネスを展開する業界団体に、ストリーミングによる映像配信を主体とする事業者が加盟したことにより、今後の映像ビジネスにどのような影響を与えるのか注目される。そして、9月には、我が国で5Gのプレサービスが開始される。いよいよ「5G時代」の始まりであり、超高速・大容量の通信が可能となり、映像配信ビジネスが急速に進化する可能性が出ている。

一方、このような変化の激しい環境の中においても、既存の市場の足固めは引き続き重要である。2016年度から開始したビデオソフトの市場活性化キャンペーン『11月3日はビデオの日～おうちでエンタメ!』は、本年度で4回目を迎える。2018年度も、協会会員社をはじめ業界関係事業者と協力し、セル市場、レンタル市場の活性化を図る施策を継続して実施したほか、「ビデオの日」キャンペーンの知名度を上げるためのイベントを実施し、一定の手応えを感じる事が出来た。本年度は、これまでに築いた土台をさらにブラッシュアップし、さらなる結果に結びつけることが重要となっている。

また、オンライン上の海賊版サイト問題に対して、当協会も主張したリーチサイト規制に関して、著作権法改正を提言する著作権分科会報告書が出されている。当協会としては、流通促進部会・違法対策委員会を中心に悪質なリーチサイトに関する情報を収集・精査するなどして、法改正後の対応に備えていく。激化する映像メディア環境の中、既存の市場の活性化をはかりつつ、配信事業の普及拡大を含めて、引き続き市場の回復を目指し次の事業を推進していく。

[]内は担当主務部会

[1] 映像ソフト産業の健全な発展をはかる施策の実施[業務部会]

1. 映像ソフトのバリアフリー化・アーカイブ化の運用ルール等環境整備
会員社や関係官庁・関係団体等が行っている映像ソフトのバリアフリー化・表現の統一・アーカイブ化の取組みについて、運用ルールの構築等の支援協力を行い、誰もが映像ソフトを楽しむことができる環境整備に努める。
2. 協会活動充実のための新入会員勧誘の促進
映像ソフト産業界を代表する団体として、業界の発展に資するため、より多くの映像ソフト製作者、流通・映像コンテンツ関連事業者等の入会を募る。
3. 倫理問題の研究・意識の啓発
青少年に及ぼす映像ソフトの影響に鑑み、倫理規定遵守の徹底をはかる。
また、倫理問題の研究と意識の啓発に努めると共に、関

係官庁・関係団体との連携・協力を努める。

消費者庁の「公益通報者保護法を踏まえた内部通報制度の整備・運用に関する民間事業者向けガイドライン」(平成28年12月9日)等を参考に、協会の業務に関するコンプライアンス推進を図る。

4. 経理・税務問題の検討

税制改正、会計処理の変更等については、随時対応について検討する。

5. 正会員各社を対象にした合同社員研修の実施

イ. 4月入社社員を対象にした新入社員合同研修を実施する。

ロ. 新入社員以外の社員を対象にした合同研修を実施する。

6. 映像商品制作に関する調査・研究

映像関連技術情報や商品管理情報の収集を行い、必要に応じて会員社へ情報提供を行う。

[2] 市場の整備及びマーケティング活動の活性化

1. マーケティング施策の調査・研究[営業部会/業務部会]

イ. DVDビデオ・ブルーレイ・Ultra HD ブルーレイの市場動向を把握するとともに、レンタル、セル等の市場別マーケティング施策の研究・検討を行う。

ロ. 映像配信の市場動向を把握することを目的として、会員社の映像配信売上についての調査を実施するとともに、映像配信のマーケティング施策の研究・検討を行う。

ハ. 映像コンテンツのデータベースについて、(株)ジャパニミュージックデータとの提携を継続し、データ収集状況ならびにデータベースの利用実態を把握する。

2. 業務用市場の流通の円滑化と活性化のための施策

[流通促進部会/著作権部会]

ホテル、バス、健康ランド、船舶、複合カフェ、公共施設等における映像ソフトの上映・配信利用に対する正規市場の維持・発展に努める。

3. レンタルシステムの運用

[レンタル運用委員会/流通促進部会]

当協会のレンタルシステム加盟店の実態把握と未加盟店の加入を促す。

4. 市場活性化の施策

[市場活性化キャンペーンワーキンググループ]

セル、レンタルともに市場活性化を目的とした「11月3日はビデオの日」のキャンペーンを引き続き実施する。

5. 会員地区連絡協議会への支援[流通促進部会]

映像ソフト市場の健全な発展のため、会員社出先機関で組織された会員地区連絡協議会が行う市場活性化、著作権保護活動等の諸活動を支援する。

[3] 知的財産権の擁護確立及び施策の推進**1. 著作権に係わる広報・普及活動**

[業務部会／著作権部会／流通促進部会]

映像著作物の許諾実務、映像ソフトの著作権に関する諸問題について、調査研究を行い広報・啓発活動を行うとともに、関係官庁・関係団体の行う知的財産権に係わる広報・啓発活動に協力する。

特に、無許諾配信等著作権侵害のツールである技術的制限(保護)手段を無効化(回避して複製)するリッピングソフトの提供、使用等が違法行為であることの周知を図るための広報活動として、『アンチリッピングキャンペーン』を会員各社と協力し、継続して実施する。

2. 識別シールの発行等

[レンタル運用委員会／流通促進部会]

海賊版識別及び頒布権の行使態様を表示するための統一マークを印したシールの発行及び同マークの登録商標の利用許諾を行い、正規市場の維持を図るとともに、一般利用者の正規品識別に資するよう努める。

3. 関係権利者団体との間における諸問題への対応

[著作権部会]

関係権利者諸団体と著作物使用料規程その他の諸問題について協議する。

4. 著作権保護と無許諾利用の防止

[著作権部会／流通促進部会]

関係官庁や関係団体と連携して、映像著作物の無許諾利用(複製・頒布・上映及び配信等)の防止に努める。また、技術的制限(保護)手段を無効化(回避して複製)するリッピングソフトの提供行為等の防止に努める。

また、「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」等関連法令の研究を行うことにより著作権保護活動の充実を図る。

5. 正会員各社を対象にした合同社員研修の実施

イ. 海外での映像ソフトの無許諾利用の防止に努める。

ロ. 原産地証明の発行

台北駐日経済文化代表處からの要請により、倫理基準の遵守と台湾における海賊版防止のため、関連団体との連絡を密にしながら原産地証明を発行する。

ハ. 海外での映像ソフトの利用実態を把握するため、必要に応じ近隣諸国及び地域に視察団を派遣する。

6. 著作権法等の整備への対応[業務部会／著作権部会]

著作権法第38条第1項に関する当協会の見解の普及に努めつつ、著作権法制度の整備を含め、著作物の通常の利用が妨げられない同条同項の運用がなされる環境の構築に努める。また、私的録画補償金制度に関する審議会の審議動向を注視しつつ、その状況に適した対応に努める。

[4] 映像メディアの現状と今後に関する調査・研究

[eメディア部会]

1. 映像配信事業に関する調査・研究

イ. 映像配信技術・管理技術及びマーケティング施策に関

する調査・研究を行う。

ロ. 映像配信をはじめ、多様な映像コンテンツ流通チャンネルが提供されている諸外国へ、必要に応じ視察団を派遣する。

2. 映像ソフトに関する調査・研究

映像ソフトに関する新たな技術や流通等に関する調査・研究をする。また、新たにVRに係わる現状、課題、将来性等について、有識者を招き広く情報共有するとともに調査・研究を行う。

3. セミナー・研究会の開催

映像メディアの将来に係わる重要な情報技術や社会情報学に関する調査・研究を行う。また、必要なセミナー・勉強会を開催する。

4. 映像配信市場に関する広報・啓発のあり方について検討する。**[5] 映像ソフトに関する調査**[業務部会／営業部会]**1. 協会会員社を対象とする売上の統計調査の実施**

イ. 映像パッケージソフトの売上統計調査を半期ごとに年2回実施し、報告書を作成して公表する。

ロ. 映像パッケージソフトの月間売上統計調査を実施し、速報として公表する。

ハ. 映像配信事業に係る月間売上統計調査を実施し、会員社及び協力社に結果を提供する。

2. レンタル市場の実態把握のため、レンタルシステム加盟店を対象とした「ビデオレンタル店実態調査」を実施し、報告書を作成して公表する。

3. 消費者レベルでの映像パッケージソフトや映像配信の市場動向を把握するため、「映像ソフト市場規模及びユーザー動向」に関する調査を実施し、結果を公表する。

[6] 国際的諸問題に対する対応[流通促進部会]

1. 一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)に参画するとともに、海外における日本コンテンツの流通環境の整備等を推進する。

2. 海外市場の実態の把握

協会会員社の関連性の高い海外市場の実態調査・研究に資するため、必要に応じ近隣諸国及び地域における実態調査を行う。

[6] 情報の収集及び提供[業務部会]**1. 会報の発行**

協会の事業活動報告、当面する諸問題の報道・解説、国際情報等を内容とする。

「会報」を、年6回発行する。

2. ホームページ等を通じた情報提供、PR活動の充実

ホームページ等を通じて、著作権に関するQ&Aやマーケットデータ、協会事業等につき、会員社内外及び一般利用者へ情報提供やPR活動を展開する。

3. 一般紙・業界誌等の報道機関と接触を図り、協会活動等につき広報活動を展開する。

[8] 内外関係機関等との交流及び協力

1. 関係諸官庁等に対して、映像ソフト産業の特性、実態等の的確な説明に努め、映像ソフト産業の健全な発展のために協力を要請するとともに、自主規制による良好な環境整備の実現に努める。[業務部会／著作権部会]
2. 関係諸官庁等に知的財産権保護活動に理解を求めるとともに、知的財産権侵害の取締りを要請する等健全な市場の維持・発展に努める。[業務部会／著作権部会／流通促進部会]
3. 協会が事務局を務める不正商品対策協議会等、会員として加盟する関係諸団体の事業に協力するとともに、協会の事業に対する理解・協力を要請する。
また、その他の関連する団体との交流を図る。
4. 諸外国関連団体との交流を図り、国際市場の整備を目的とする内外情報の交換・著作権情報の交換及び著作権保護活動等を通じ国際市場の健全な発展に努める。[業務部会／著作権部会／営業部会／流通促進部会]

5. 日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合(CDVJ)主催「ショップコンテスト」にてJVA賞を設置、レンタル店の活性化を支援する。
東北地区連においてはCDVJと共に同組合が主催する「ショップコンテスト」に「頑張ろう!東北!」賞を設置、東北エリアの復興支援をサポートする。[業務部会／営業部会]
6. 関西、中部地区連、および、CDVJと協力して西日本合同賀詞交歓会を共同開催し、広くエリア活性化に協力する。[業務部会／営業部会]

[9] 会員社間の交流の緊密化を図る催事の実施

会員社の交流を図るため、新年賀詞交歓会、会員親睦ゴルフコンペを実施する。
また、正会員、協賛会員を対象に現場レベルの懇親を図る「総合連絡委員会主催懇親会」を開催する。

eメディア部会

eメディア部会定例セミナー開催報告

eメディア部会運営委員会(栗橋三木也委員長(株)KADOKAWA)は、4月10日(水)に当協会会議室において定例セミナーを開催した。セミナーにはTokyo Otaku Mode Inc.の事業開発プロデューサー兼オタクコイン協会ファウンダーである坂入広和氏と、ジャーナリストの数土直志氏をそれぞれ講師としてお迎えし、「「オタクコイン」の試みから見るブロックチェーンとコンテンツの可能性」についてプレゼンテーションが行われた。

まず坂入氏から、「ブロックチェーン／仮想通貨の基礎とオタクコインのご紹介」と題し、昨今ニュース等で触れられることも多くなったブロックチェーンや仮想通貨について、それらの発展の経緯や仕組みについて、初歩から理解できるよう具体的な説明がなされた。続いて登壇した数土氏は、「ブロックチェーンとコンテンツビジネスの可能性」をテーマに、これらの新しいテクノロジーを、実際のコンテンツビジネスに応用するにあたってのメリットや問題点について、将来の展望を交え解説した。

名称こそ世間一般に浸透しつつあるものの、その仕組みの複雑さから漠然と捉えられるに止まる傾向にあった「ブロックチェーン」や「仮想通貨」だが、実際のビジネスに当てはめた具体的な解説が両講師から加えられることによって、より身近な存在として把握し理解が深められる機会となった。

イベント

第43回 JVA懇親ゴルフ会開催報告

去る4月13日(土)、千葉県成田市のグリッサンドゴルフクラブにおいてJVA懇親ゴルフコンペが開催された。

当日は好天に恵まれ、春らしく暖かな日差しの中、24名が参加し日頃の腕前を競い合った。

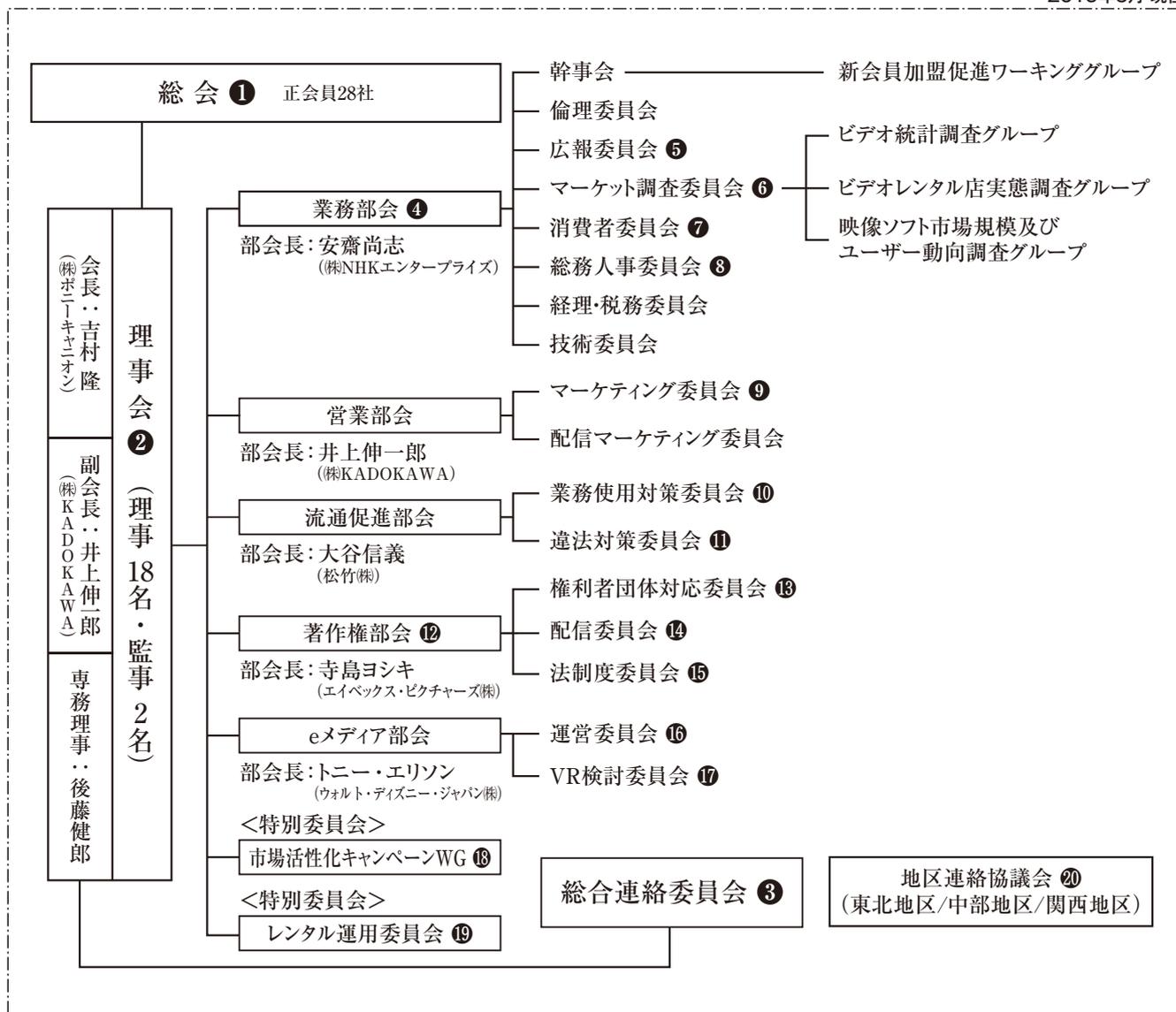
優勝は、島谷能成前会長(東宝(株) 代表取締役社長)だった。また、準優勝は大田圭二氏(東宝(株) 取締役)、3位は柳田昌賢氏(株)NHKエンタープライズ 常務取締役)が獲得した。ベストロ賞は川合史郎氏(20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパン(株) 代表取締役社長)が獲得した。終了後は、成績発表会を兼ねた懇親会が開催された。



▲優勝した島谷前会長にはトロフィーが授与された

一般社団法人 日本映像ソフト協会 組織図

2019年6月 現在



主な会議、委員会の紹介

①総会

議長: 吉村 隆代表理事会長(株)ポニーキャニオン

定款に定める事項の他、当協会の運営に関する重要事項を決議する機関。通常総会は事業年度終了後3ヶ月以内に開催され、前年度の事業報告、収支決算、次年度の事業計画、収支予算等についての決議の他、理事・監事の選任を行う。

②理事会

代表理事会長: 吉村 隆(株)ポニーキャニオン

役員: 20名(代表理事会長を含む)

総会の決議した事項の執行に関することや、総会に上程すべき事項について検討、決議する。その他、総会の決議を要しない業務の執行に関する事項についても決議する。会議開催は原則として毎月第1火曜日。

③総合連絡委員会

議長: 後藤健郎専務理事

委員: 42名

全会員社から1名の委員によって構成され、理事会ならびに各部会・委員会の活動報告や、関係官庁、関係団体からの連絡事項等について報告している。また、各部会から上程された事項に関し、各会員社の意見をフィードバックし協議を行なうこともある。会議開催は原則として毎月第2火曜日。

④業務部会幹事会

部会長: 安齋尚志(株)NHKエンタープライズ

幹事: 18名

理事会に上程する重要事項について協議をしている。会議開催は原則として第4木曜日。

⑤ 広報委員会 (業務部会)

委員長: 山口幸彦 (キングレコード株)

委員: 4名

年に6回発行される協会会報誌『JVA REPORT』や、当協会のホームページ (<http://www.jva-net.or.jp>) などの監修を行っている。会議開催は不定期。

⑥ マーケット調査委員会 (業務部会)

委員長: 森口和則 (松竹株)

当協会が実施している各種マーケット調査についての企画実施および調査結果の検分をグループごとに担当して行う。現在行われている調査は以下のとおり。

- ビデオ統計調査グループ…メーカーの出荷段階の売上について統計調査を実施。「月間ビデオソフト売上統計速報」「統計調査」(3月と9月に発表)
- ビデオレンタル店実態調査グループ…JVAレンタルシステム加盟店を対象にビデオレンタルショップの月平均売上金額や貸出数、レンタル料金、仕入金額等についてアンケートする調査。6月調査、10月発表
- 映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査グループ…一般消費者を対象に、年間のビデオソフトのセル、レンタルの利用実態や映像配信の利用実態を調査し、映像パッケージと映像配信市場の規模を推計する調査。1月実施、5月発表

⑦ 消費者委員会 (業務部会)

委員長: 赤松恵子 (株) ソニー・ピクチャーズエンタテインメント)

委員: 19名、オブザーバー1名

DVDビデオやBlu-ray Discなどの再生互換性に関する情報交換や、各社のお客さま相談窓口へ寄せられた利用者の声の中で、業界として取り組むべき課題などを検討している。会議開催は不定期に年4回程度。

⑧ 総務人事委員会 (業務部会)

委員長: 枇榔浩史 (東宝株)

総務人事担当者による情報交換、意見交換、勉強会を行ない諸課題について検討会を行う。

協会会員社を対象とした合同研修会の企画、運営を行う。会議開催は不定期に年3~4回程度。

⑨ マーケティング委員会 (営業部会)

委員長: 上田太地 (東宝株)

委員: 26名

主にパッケージビデオのマーケットに関する情報の交換と、市場活性化のための施策の検討や課題の解決にあたっている。市場活性化キャンペーンWGのセル・レンタル分科会としての役割も担う。会議開催は毎月第1水曜日。

⑩ 業務使用対策委員会 (流通促進部会)

委員長: 齋藤 剛 (東映株)

委員: 20名

時代と共にビデオソフトの業務使用は様々なビジネス形態が生まれているが、スムーズにビデオソフトの流通を促進させるため、これらの業務使用に関する対応を検討すると共に、市場動向の意見交換を行なう。また、業務使用に関する問合せに対応するために「上映・業務用をご利用になるには」と、各会員社の業務使用契約窓口一覧を協会ホームページで広報している。また、各地区連絡協議会とも協力して活動している。会議開催は月1回。

⑪ 違法対策委員会 (流通促進部会)

委員長: 大田圭二 (東宝株)

委員: 13名

映像ソフトに係わる著作権侵害行為の早期の確認と防止、そして対応することを活動方針とし、悪質な侵害行為者に対し法的措置を講ずるための手続きを担当している。警察庁、各都道府県警察、地区連絡協議会、関係諸団体と連携して違法対策活動を推進している。また、「国際部会」を廃止しその機能を移管。海外の侵害に対して、コンテンツ海外流通促進機構(CODA)とも連携して対策に取り組んでいる。

⑫ 著作権部会

部会長: 寺島ヨシキ (エイベックス・ピクチャーズ株)

委員: 30名

著作権部会は、定款の事業目的のひとつである『知的財産権の擁護確立および施策の推進』を主たる役割とする部会で、次の3つが柱となる。

- 内外の著作権法制に関する調査・研究
- 著作権処理に関する諸問題への対応
- 知的財産権擁護確立のための広報活動

その役割を果たすため、著作権部会では3つの委員会の活動報告や上記3点に関する課題を検討している。会議開催は毎月1回程度。

⑬ 権利者団体対応委員会 (著作権部会)

委員長: 上埜芳被 (株) バンダイナムコアーツ)

委員: 9名

著作権部会の役割のうち、著作権処理に関連する諸問題の調査研究および著作権管理事業者等関係団体との協議を主たる役割とする。

⑭ 配信委員会 (著作権部会)

委員長: 上埜芳被 (株) バンダイナムコアーツ)

委員: 15名

権利者団体対応委員会に各社のネット配信担当者も参画していただく、権利者団体対応委員会の拡大委員会。ネット配信の権利処理に関連する諸問題の調査研究を行なっている。これに関連して動画投稿サイト等に関する諸問題にも対応している。

⑩法制度委員会(著作権部会)

委員長:鈴木裕子(エイベックス・ピクチャーズ株)

委員:9名

著作権部会の役割のうち、著作権法制度に関わる諸問題への対処を担う委員会。文化庁文化審議会著作権分科会とその各小委員会等で審議されている著作権法制度上の課題等の調査研究を行っている。

⑪eメディア部会運営委員会

委員長:栗橋三木也(株KADOKAWA)

委員:8名

映像メディアの将来に係るセミナーの企画・運営を行なうとともに、情報技術や社会情報学に関する調査、研究、情報交換を行う。取り上げるべきテーマに応じて開催していく予定。会議開催は不定期。

⑫VR検討委員会

VRに係る現状、課題、将来性、米国市場の動向等について、有識者を招き広く情報を共有し、会員間で意見交換、各種検討などを行う。

⑬市場活性化キャンペーンWG

委員長:盛田 洋(株ポニーキャニオン)

メンバー:19名

ビデオソフトの市場活性化キャンペーン『11月3日はビデオの日~おうちでエンタメ!』について検討している。会議開催は年間スケジュールを基に実施。

⑭レンタル運用委員会

委員長:斉藤泰彦(松竹株)

委員:9名

「個人向けレンタルシステム」の運用を行う。新しいレンタルのビジネスモデルなど、現行のレンタルシステムに当てはまらない問題などにつき検討し、システムの変更、改変を行う。また、ビデオレンタル店を開業する際に配布する「個人向けレンタルシステムの手引き」の監修を行う。部会に属さない特別委員会として常設する。会議開催は不定期。

⑮地区連絡協議会

東北・中部・関西に地区連絡協議会が設置されている。地区連では参加メーカーが持ち回りで幹事を担当し、違法対策部会、業務使用対策委員会と連動した調査・啓発キャンペーンを実施している。また、定例会、総会、新年賀詞交歓会、懇親会など、地域に密着した活動と情報交換が行われている。

業務部会

JVA バリアフリー対応に感謝状

業務部会幹事会では、昨年より、市販用DVDやブルーレイの音声ガイドや日本語字幕ガイドの様なバリアフリー対応コンテンツの表記について統一ルールを定め、会員社並びに関係各所の協力を得ながらその運用を進めてきた。

去る5月7日(火)当協会会議室において、社会福祉法人日本盲人会連合、社会福祉法人全国盲ろう者協会、NPOバリアフリー映画研究会、NPOメディア・アクセス・サポートセンターの4団体より、その活動に感謝の意を表して、感謝状が贈呈され

た。感謝状は、代表してユニバーサルデザインコンサルタントの松森果林様より、島谷前会長へ贈呈された。その後、各団体代表の皆様より普段どのようにビデオソフトを利用しているのか、その際にご苦労をしている点やご意見をいただいた。島谷会長は、「実際、当事者の方々に聞いてみないと想像ではわからないことが多かった。今後も皆さんとコミュニケーションを取りながら、より多くの方にビデオソフトを楽しんでもらえるよう、環境整備に努めたい。」と述べた。



▲プレゼンターの松森果林様より感謝状を受け取る島谷前会長



▲4団体代表の皆様と意見交換を行った

『ほんと?ホント!フェア in 和歌山 ~海賊版は買わない!海賊版サイトは見ない!偽ブランド・偽キャラクターグッズは買わない!~』を開催

5月25日(土)、不正商品対策協議会(ACA)は『ほんと?ホント!フェア in 和歌山 ~海賊版は買わない!海賊版サイトは見ない!偽ブランド・偽キャラクターグッズは買わない!~』を、イオンモール和歌山(和歌山市)にて開催した。当日は好天にも恵まれ、会場には家族連れを中心に約2,500人が来場した。

当日は、「ばる〜んちいな」さんが演じるバルーンパフォーマンスショーや、和歌山地域密着型アイドルグループ「Fun × Fam」によるスペシャルLIVE、和歌山県警察音楽隊が奏でるミニコンサートなどの様々なステージイベントが繰り広げられた。また、和歌山県警察のシンボルマスコット「きしゅう君」や和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」の他、ゲームの世界から飛び出した「どんちゃん」と「パックマン」も加わった賑やかな写真撮影会や、子供用警察制服

試着&撮影会も行われ、会場は大きな賑わいを見せた。来場者は、知的財産権に関する問題が出題される〇×クイズ大会や、約100点にも上るホンモノ・ニセモノの比較展示とそれらを見分けるクイズラリーなどを楽しんでいた。

このフェアは、インターネットを悪用した知的財産侵害事犯が身近になる中で、知的財産の保護と不正商品の排除の大切さについて、広く一般消費者対し訴えかける催しとなった。

- ◇主催 不正商品対策協議会(ACA)
 - ◇後援 警察庁/和歌山県警察/特許庁
 - ◇協力 国際知的財産保護フォーラム(IIPPF)
- 詳細は不正商品対策協議会ホームページまで
(<http://www.aca.gr.jp/>)

(執筆:ACA事務局)

▼ホンモノ・ニセモノの比較展示の様子



▼〇×クイズの様子



▼和歌山県警察音楽隊のミニコンサート



コンテンツ海外流通促進機構CODA

海外における権利行使

2018年、インターネット上の海賊版対策が大いに注目を集めた。海賊版サイト「漫画村」の台頭に始まり、4月には、政府の知的財産戦略本部・犯罪対策閣僚会議が「インターネット上の海賊版サイトに対する緊急対策」を発表し、その後知財本部に設置された「インターネット上の海賊版対策に関する検討会議(TF)」は全9回に渡り検討を行った。しかし、当初提案された「サイトブロッキング」は取りまとめを行うことはできなかった。

また、著作権法改正に関しても、ダウンロード違法化の対象範囲の見直し(拡大)について、議論が紛糾した。CODAでは、海賊版対策には有効な一手というもの存在せず、より多くの「武器(対策)」を持って多角的に対応する必要があること、そして、広告収入を元手に運営している海賊版サイトの収入源を絶つためには、ダウンロードの絶対数を減らすことが効果的であることを主張したが、この時点で国民の懸念や不安を払拭することは困難であるとして、国会への提出が見送られている。

これら議論の中でも、特に見受けられた反論として、「海賊版サイト運営者への対策に力を注ぐべき」というものがあつた。現在、日本国内において、海賊版サイトが開設・運営されていることが明らかな場合、日本の警察によって直ちに取締りが可能である。実際に数年前までは、

日本の警察による海賊版サイト運営者の摘発は度々報じられてきた。しかし、現在では、権利者の目や手が届きにくい海外のサイトや、さらにはサイト運営者の身元を分かり難くするためのサービスなどが登場しており、その特定・摘発は困難を極める。

また、各国・各地域における法律やその運用、著作権に対する意識の差も大きなハードルとなっていた。しかし、これに改善の兆しが見えてきた。

CODAは、日本のコンテンツを守るため、世界のさまざまな国や地域の政府機関、取締執行機関、民間団体などとの関係構築を続けてきた。著作権侵害の現状や対策を共有したり、時にはビジネスマッチングなどの正規流通をバックアップすることで、国全体の自浄作用を高めたりすることもその一環である。

そして本年、これらルートを通じて、対策が極めて難しいとされている具体的な複数の海賊版サイトに対し、刑事摘発など具体的な権利行使を可能とする手段が提案されている。

もちろん、これですべてが解決するものではなく、引き続き総合的な海賊版対策が必要であるというCODAのスタンスに変わりはないが、まずは、糾弾されるべき悪質な海賊版サイト運営者への直接的対策にぜひご期待いただきたい。

(執筆:CODA事務局)



Relay essay


 vol.137

阪口 滋氏(株)ポニーキャニオン マーケティング本部 マーケットプロモーション2部部長)からのご紹介

浅田 恭司氏(キングレコード(株) 営業本部 営業統括部 部長)

「最も忘れられない試合」

少年時代から野球観戦とボクシング観戦がライフワークなのですが、今回は僭越ながら“今まで生観戦した中で最も忘れられない試合”についてそれぞれ紹介させて戴こうと思います。

【野球編：2003年9月15日@阪神甲子園球場】
阪神タイガースー広島東洋カープ】


この年の我が阪神タイガースは長い、余りにも長かった暗黒時代を脱出し、7月の頭には早くもマジックナンバーが点灯するという史上でも稀にみる独走状態でした。前回の優勝時、1985年は遠く熊本の中学生だった私でしたがこの当時は大阪に在住しており、最頂球団の快進撃を地元で体感できるというのは至上の喜びでした。

優勝の瞬間を絶対にこの目で観たいという思いひとつでプラチナと化したチケットを確保し、マジック2で当日を迎えました。この日優勝が決まる条件は阪神が広島に勝ち、且つヤクルトが横浜に負けるというもので、自力での優勝決定は無い状況でした。

祝日のデーゲーム、14:00から始まった試合は阪神ファンの皆様をご承知の通り赤星のサヨナラヒットで阪神が勝ち、この時点で王手。その後、甲子園球場のオーロラビジョンで16:00から始まっていた横浜ーヤクルト戦の緊急中継が開始されたのです。当然ながら5万人の大観衆は皆居残り観戦し、横浜の大量リードもあってウェーブも起こるなど場内の盛り上がりは最高潮、そしてヤクルト最後のバッター真中がショートゴロに倒れた瞬間、歓喜の時がやってきました。あの時に目撃した星野監督の胸上げ、体感した地鳴りのような歓声は今なお目に耳に焼き付いております。終了後もファンの方々と球場周辺や阪神電鉄梅田駅構内でひとしきり盛り上がり、帰宅後は在阪民放各局で

緊急放送された優勝特番を朝までザッピングして翌日は一睡もせずに出社しました。当時33歳、若かったですね。

因みにこの年、浪速の春団治・川藤幸三が弊社から『猛虎の衆』なるシングルをリリースし、私的に嬉々として営業に勤しんだのは良い思い出です。当時、拡売にご協力戴いた特約店の皆様には改めて御礼申し上げます。

【ボクシング編：1997年11月22日@大阪城ホール】
シリモンコン.N-辰吉丈一郎】

浪速のジョー・辰吉丈一郎が3度目の世界王座を獲得したWBC世界バンタム級タイトルマッチです。具志堅用高の晩年、渡辺二郎や浜田剛史が活躍し出した辺りからボクシングを観続けていますが、ルーキー時代からその類稀な才能に惚れ込み特に思い入れを持って追っていたのが辰吉でした。しかし当時27歳の彼は薬師寺、サラゴサ(2回)と世界戦で3連敗を喫しており、相対する王者のシリモンコンは無敗の20歳、戦前予想は辰吉の圧倒的不利であり、これがラストファイトと見られていました。かく言う私も自分と同年であるスーパースターの最期を見届ける覚悟で小雨降る大阪城ホールに向かいました。

ところが試合は王者の減量苦による不調もあって辰吉ペースで進み、5Rに最初のダウンを奪ってからはもう涙が止まらず、7RにKO負け寸前のピンチから起死回生の左ボディで2度目のダウンを奪った直後のラッシュで王者をストップした瞬間、我を忘れて絶叫しながら周辺の観客たちと抱擁しました。超満員だった大阪城ホールのある種異様な雰囲気と相俟って、あれほどの興奮と感動は生涯忘れられません。

野球やボクシングに限らず、今は様々なスポーツが衛星放送やインターネットの進化でライブ視聴出来る環境にあります。やはり生観戦で得る体感は忘れ難く、自分の財産にもなります。これからも色々な感動の現場に立ち会いたいと思います。

▼日誌に見る協会の動き

【4月】

2日 定例理事会
3日 マーケティング委員会
5日 権利者対応委員会
著作権部会
9日 総合連絡委員会
10日 eメディア部会定例セミナー
11日 新入社員合同研修会(1回目)
12日 業務使用対策委員会
13日 JVA懇親ゴルフ会

19日 新入社員合同研修会(2回目)
22日 市場活性化WG全体会議
23日 JASRAC協議
25日 業務部会幹事会

【5月】

7日 定例理事会
8日 マーケティング委員会
9日 ユーザー動向調査2018
DEG&JVA合同説明会

総務人事委員会
10日 権利者団体対応委員会
著作権部会
14日 JASRAC協議・3団体協議
総合連絡委員会
16日 ユーザー動向調査2018 記者発表会
20日 ACA企画広報部会
23日 レンタル店実態調査グループ会議
27日 市場活性化WG全体会議
30日 業務部会幹事会(書面決議)

一般社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2019年6月1日現在

■ 正会員(28社)

アスミック・エース(株)
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・ピクチャーズ(株)
株 NHK エンタープライズ
NBC ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)
株 KADOKAWA
ギャガ(株)
キングレコード(株)
株 小学館
松竹(株)
株 ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
株 ソニー・ミュージックエンタテインメント
株 第一興商
TC エンタテインメント(株)
東映ビデオ(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
株 東北新社
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
日活(株)
株 バップ
株 ハビネット
株 バンダイナムコアーツ
株 ボニーキャニオン
ユニバーサルミュージック(同)
株 よしもとミュージック
リバプール(株)
ワーナー ブラザース ジャパン(同)

■ 協賛会員(14社)

(株) アニプレックス
(株) 一丸堂印刷所
(株) IMAGICA Lab.
エイベックス・エンタテインメント(株)
カルチュア・エンタテインメント(株)
(株) キュー・テック
(株) 金羊社
(株) ジャパン・ディストリビューションシステム
ソニー PCL (株)
(株) 徳間ジャパンコミュニケーションズ
日本レコードセンター(株)
(株) 博報堂DY ミュージック & ピクチャーズ
(株) ムービーマネジメントカンパニー
メモリーテック(株)

2019年6月21日発行

編集・発行 一般社団法人 日本映像ソフト協会

〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館2F
電話:03-3542-4433 FAX:03-3542-2535 <http://www.jva-net.or.jp>



サラリーマン 山崎シゲル

× 日本映像ソフト協会 <http://www.jva-net.or.jp/anti-ripping/>

アンチリッピングキャンペーン DVDのリッピングは違法です!

知って
いますか?

毎年 11月3日は
ビデオの日 ビデオ エンタ
<http://www.videonohi.jp/>